

拉致問題の早期解決を願う国民のつどい

～すべての拉致被害者の一刻も早い帰国実現を目指して

入場無料
申込不要

「北朝鮮の情勢、拉致問題解決の展望」



リ ヨン ファ
李英和氏

関西大学教授
(北朝鮮社会経済論専攻)
「救え!北朝鮮の民衆/緊急行動ネットワーク」(RENK) 代表

1954年生まれ(55歳)、在日朝鮮人三世
関西大学大学院博士課程修了
1991年4月~12月、北朝鮮の朝鮮社会科学院に留学。
93年にNGO団体「救え!北朝鮮の民衆/緊急行動ネットワーク」(RENK)を結成、現在、同代表を務める。
著書に『暴走国家・北朝鮮の狙い』(PHP研究所、2009年10月)など多数。

講演

拉致被害者御家族メッセージ



ますもと てる あき
増元照明氏

北朝鮮による拉致被害者家族連絡会事務局長、
1978年8月 鹿児島県で拉致された増元るみ子さんの弟



まつもと はじめ
松本孟氏

1977年10月 鳥取県で拉致された松本京子さんの兄

とき

平成22年**10月17日(日)**
13:30~15:30 (13:00 開場)

ところ

**米子コンベンションセンター
国際会議室** (米子市末広町294)

内容

- ◆政府関係者等によるあいさつ
- ◆講演
- ◆拉致被害者御家族メッセージ
- ◆県民メッセージの紹介、千羽鶴贈呈 など

募集

この「つどい」で紹介する拉致問題解決を願う**県民メッセージ**及び拉致被害者御家族へ贈呈する**千羽鶴**を募集します。詳しくは、問い合わせ先のホームページをご覧ください。か、お電話でお問合せください。

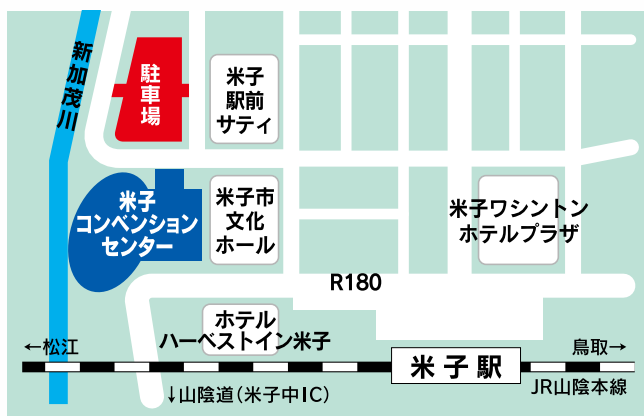
手話通訳・
要約筆記あり

託児あり ※

お問合せ

鳥取県庁 人権局 TEL:0857-26-7590
E-Mail:jinken@pref.tottori.jp
HP:http://www.pref.tottori.lg.jp/rati/

※託児をご希望の場合は、10/8(金)までに
問合せ先へお申し込みください。



※出来るだけ公共交通機関をご利用ください。

らち 拉致問題について

■北朝鮮当局による拉致問題の概要

1970年代から1980年代にかけて、多くの日本人が不自然な形で姿を消しましたが、これらの事件の多くには、**北朝鮮当局による拉致(注)**の疑いが持たれています。日本政府は、17名を拉致被害者として認定していますが、この他にも拉致を否定しきれないケースがあります。

(注) 作務員の身分偽装や教育係としての利用のため強制的に連れ去ること

2002年9月に北朝鮮が日本人拉致を初めて認め、同年10月に5人の拉致被害者が帰国しましたが、他の被害者については、未だ北朝鮮から安否に関する納得のいく説明はありません。

■拉致問題の解決は国民的課題

北朝鮮当局による拉致は、誰でも突然連れ去られる可能性があった事件であり、拉致被害者や家族だけの問題ではなく、国民すべての課題と言えます。私たちも、自由と生命・身体の安全や家族の大切さを再確認すべきではないでしょうか。

また、日本政府は、この問題の解決に向けて取り組んでいます。解決を願う国民の声、大きな国際世論となり、米子市の松本京子さんをはじめとする拉致被害者の早期帰国実現への大きな支援となります。

県民の皆さんのご支援をお願いします。



松本京子さん

失踪位置図



鳥取県の拉致被害者等

■政府認定拉致被害者

- ① **松本京子さん** (まつもときょうこ) (米子市出身、当時29歳) 1977(昭和52)年10月21日、自宅近くの編み物教室に向かったまま行方不明

■拉致の可能性が指摘されている人

※ 特定失踪者問題調査会(民間団体)の公表資料による

- ② **古都瑞子さん** (ふるいちみずこ) 1977(昭和52)年11月14日、普段着で出かけたまま行方不明。自宅には旅行の切符やポケベルも置いたまま。
- ③ **矢倉富康さん** (やくらとみやす) 1988(昭和63)年8月2日、一人で出漁して行方不明。元精密工作機械製作のエンジニアであった。
- ④ **上田英司さん** (うえだえいじ) 1969(昭和44年)11月4日、「京都に行ってくる」と下宿家主に言ったまま行方不明。荷物は紙袋一つ。

拉致問題の主な動き

1970年代~80年代	多くの日本人が不自然な形で行方不明
1997年(平成9年) 3月	北朝鮮による拉致被害者家族連絡会(通称:家族会)発足
2001年(平成13年) 3月	北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会家族会(通称:救う会)が、松本京子さん等5名についての拉致の可能性を含めた再調査を警察庁に要請
2002年(平成14年) 9月	第1回日朝首脳会談。北朝鮮は日本人の拉致をはじめて認めて謝罪
10月	5名の被害者が帰国
2003年(平成15年) 1月	政府は拉致被害者支援法に基づく拉致被害者として15名を正式認定
2004年(平成16年) 5月	第2回日朝首脳会談。拉致被害者の御家族5名が帰国
2006年(平成18年)11月	政府が、松本京子さんを拉致被害者として認定(17人目)
2008年(平成20年) 6月	日朝実務者協議。北朝鮮が拉致問題は「解決済み」との立場を変更し、再調査を約束
8月	日朝実務者協議。北朝鮮がすべての拉致被害者の調査を秋終了を目標に行うことで合意
9月	北朝鮮が、日本の新政権の北朝鮮政策を見極めるまで調査委員会の設置を延期すると通告
2009年(平成21年) 4月	北朝鮮がミサイル発射を強行。これに対して日本政府は追加の制裁措置を決定
5月	北朝鮮が核実験及びミサイル発射を強行。これに対して国連及び日本政府は追加の制裁措置を決定
2010年(平成22年) 7月	金賢姫元北朝鮮作務員が来日、拉致被害者御家族らと面会

